

電源制御ユニット MC-50X 取扱説明書

この度はエルモ 電源制御ユニットをお求めいただき、誠にありがとうございました。
 本機を正しくお使いいただくために、使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読み下さい。またお読み頂いた後は、いつでも見直せるよう保管して下さい。

安全上のご注意

安全にお使い頂くために … 必ずお読みください

この「安全上のご注意」および製品（本機）への表示では、本機を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。ご使用前によく読んで大切に保管してください。

















次の表示と図記号の意味をよく理解してから本文をお読みください。

	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。






図記号の意味

	名称：注意	意味：注意しなければならないことを示すもので、具体的な注意内容は近くに文章や絵で示します。
	名称：禁止	意味：禁止（してはいけないこと）を示すもので、具体的な注意内容は近くに文章や絵で示します。
	名称：強制	意味：強制（必ずすること）を示すもので、具体的な注意内容は近くに文章や絵で示します。
	名称：感電注意	意味：使用者に感電の可能性を示すもので、図の中に具体的な内容が書かれています。
	名称：分解禁止	意味：製品を分解することで感電などの障害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な内容が書かれています。
	名称：接触禁止	意味：接触すると感電などの障害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な内容が書かれています。

⚠ 警告

設置及び配線工事は販売店に依頼する。 工事には技術と経験が必要です。使用者が行うと火災、感電、けがや器物破損の原因となります。	 
この機器に水を入れない、またぬらさない。 火災・感電の原因となります。水の入った花瓶や水槽などを機器に乗せないでください。	 
表示された定格電源で使用する。 定格を外れた電源電圧、電流で使用すると火災・感電の原因となります。	 
コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷にしない。 コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。	 
機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、押し込んだりしない。火災・感電の原因となります。	 
機器のキャビネットは外さない。 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。 内部の点検・整備・修理や設定は販売店にご依頼ください。	 
機器を改造しない。 火災・感電の原因となります。	 
雷が鳴りはじめたら、電源プラグやコードに触れない。 感電の原因となります。	 

⚠ 注意

湿気やほこりの多い場所に置かない。 火災・感電の原因となることがあります。	 
調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気の当たるような場所に置かない。 火災・感電の原因となることがあります。	 
ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。 落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。	

免責事項について

- 地震、雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化、消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関しては、当社は一切の責任を負いません。
- お客様ご自身又は権限のない第三者が修理、改造を行った場合に生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品に関し、法律の定める範囲において、いかなる場合も当社の費用負担は本製品の個品価格以内とします。

補修用性能部品について

当社ではこの製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。

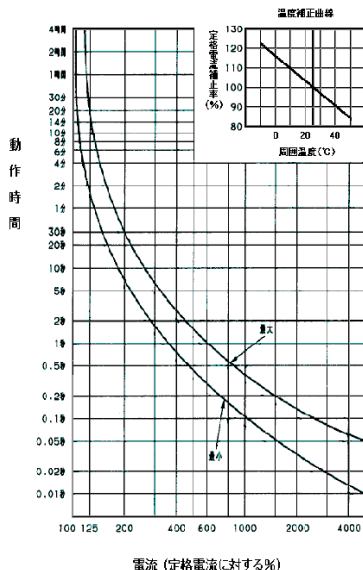
使用上のご注意

- この取扱説明書の内容を遵守ください。取扱説明書に記載されていない使い方をしますと事故の原因となります。
- 本機の使用方法に不明な点がある場合は、お求め頂きました販売店が弊社支店、営業所までお問い合わせ下さい。
- 本機は日本国内専用です。必ずAC100V 50/60Hzでお使いください。電源の異なる外国では使用できません。
- 本機は屋内専用です。屋外では使用できません。
- 保管にあたっては直射日光のあたる所、暖房機器の近くに放置しないでください。変色、変形、故障の原因になることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所、潮風のあたる場所、振動の多いところには置かないでください。
使用上の環境条件は次のとおりです。
温度：0℃～40℃ 湿度：30%～85%（結露しないこと）
- 清掃にはシンナーやベンジンなど揮発性のものは使用しないでください。塗装が剥げたり印刷が消えることがあります。
清掃には中性洗剤を水で薄めたものを柔らかい布に浸し、きつく絞ってから軽く拭いて汚れを取って下さい。
- 本機のネットワーク機能は全てのネットワーク環境で正常動作を保証するものではありません。ご利用頂く際のネットワーク環境によっては正常に動作しない場合があります

設置上のご注意

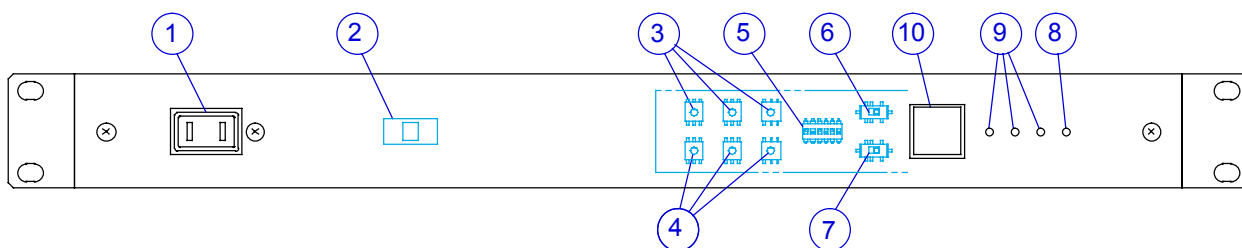
- AC入力端子（背面）関係の接続は電気工事が行ってください。
- 本機が接続できる電源（配電盤）は20Aまたは30Aです。内線規定により、30Aを超える電源（配電盤）へは接続できません。
- 本機に電源コードは付属されていません。必要な電流容量に対して充分余裕のある電流容量のケーブルを選定し接続してください。正しいケーブルを選定しないと発煙、発火や感電による事故の原因となります。
- 定格を超える使い方はしないでください。定格を超えての使用は発煙、発火や感電による事故や故障の原因となります。
入力の定格はAC100V 50/60Hzで最大20Aです。
出力の定格はAC100V 50/60Hzで、ブロックにより最大5A、10A、15Aの定格で、全てのコンセント合計で最大19.6Aです。
- 工事中または前面パネルを外してスイッチ類を操作する場合は、配電盤スイッチ・ブレーカーは「切」にして行ってください。
- 本機はラックマウント専用機です。ご使用の際はEIA規格相当のラックにマウントしてください。
- ラックマウントの際には必ず上下に空冷のための隙間を空けてください。
- ラックマウントの際には支えとなるL型レールを併用して下さい。
- 設置の際、AC入力端子部に引っ張り等の負荷が加わらないよう、ラック内部にて電源コードを締結するなどの処置を行って下さい。また電源コードが踏まれたり足を引っ掛けるようなことのないよう、ラックから配電盤等までの電源コードの保護についても処置を講じて下さい。
- 前面パネル内側の操作（ブレーカー、設定スイッチ）は販売店の方が電気工事が行ってください。
- 後面のコントロール端子に接続する場合は、適合する端子を使用し確実にねじで締結してください。緩んでいたりすると、誤動作の原因となることがあります。
- 本機に電源プラグを接続する場合は確実に挿入してください。
- ラック内の温度が45℃以上にならないようにしてください。内蔵しているブレーカーの特性上、周辺温度が上昇すると本機の電流容量が低下します。

動作特性曲線（基準周囲温度 25℃）

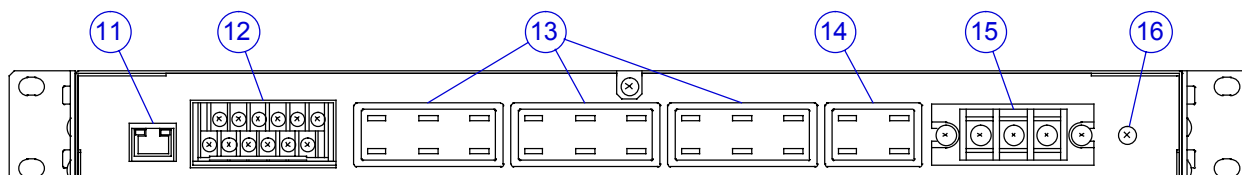


1. 各部の名称と働き

■前面



■背面



①ACコンセント（非連動）※注

電源スイッチや外部接続機器からの制御信号に関係なくAC100Vを出力します。電流容量は最大5Aです。

②ブレーカー（前面パネル内側）

通常は「入」のまま使用します。

全てのACコンセントの合計出力電流が19.6Aを超えるとこのブレーカーが動作し、全てのACコンセントの出力電流が遮断されます。

③OFFタイマー時間設定ロータリースイッチ（前面パネル内側）

電源スイッチ操作や外部リモート信号の入力に従いACコンセント⑬（ [A] [B] [C] ）の出力を遮断するまでの遅延時間を設定します。工場出荷時は全て0に設定されています。

④ONタイマー時間設定ロータリースイッチ（前面パネル内側）

電源スイッチ操作や外部リモート信号の入力に従いACコンセント⑬（ [A] [B] [C] ）が出力するまでの遅延時間を設定します。工場出荷時は全て0に設定されています。

⑤設定用ディップスイッチ（前面パネル内側）

本機の各種動作を設定するためのディップスイッチです。各ピンに割り当てられている機能は下記の通りです。工場出荷時は全てOFFに設定されています。

ピン番号	機能
1	非常用放送設備動作モード設定
2	外部コントロール端子台（B1）の外部リモート出力タイミングの切替
3	外部コントロール端子台（B1）の外部リモート出力方法の切替
4	ONタイマー時間設定の時間間隔の切替
5	OFFタイマー、ONタイマー時間設定方法の切替
6	ネットワーク設定初期化

⑥EMG [+] 切替スイッチ

外部コントロール端子台（A5）のEMG [+] 端子の接続⇄未接続を切り替えます。工場出荷時は未接続に設定されています。

⑦EMG [-] 切替スイッチ

外部コントロール端子台（A4）のEMG [-] 端子の接続⇄未接続を切り替えます。工場出荷時は未接続に設定されています。

⑧非常LED（赤）

非常用放送設備が起動したときACコンセント⑬（ [A] [B] [C] ）の出力が遮断され、このLEDが点灯します。

⑨AC出力ON/OFF LED

ACコンセント⑬（ [A] [B] [C] ）から電源が出力されているとき該当するLEDが点灯します。

⑩電源スイッチ

ACコンセント⑬（ [A] [B] [C] ）の出力を「入/切」します。ONタイマー操作をしたときスイッチが点灯します。

⑪Ethernet端子（RJ-45）

Ethernet接続用端子です。ネットワーク経由で使用する場合に接続します。

⑫外部リモートEMG端子

以下の場合に使用します。

- ・本機を増設するとき。
- ・外部機器から本機の電源を制御するとき。
- ・非常用放送設備から電源を制御するとき。
- ・DC24V出力を使用するとき。
- ・本機をリセットするとき。

⑬ACコンセント（ [A] [B] [C] ）（連動）※注

電源スイッチ⑩や外部リモートにて「入」にしたとき、AC100Vを出力します。

[A] [B] [C] 各々の電流容量は最大15Aです。

出力タイミングは、ONタイマー時間設定ロータリースイッチ④またはネットワーク経由で設定した時間で出力されます。

⑭ACコンセント（非連動）※注

電源スイッチや外部接続機器からの制御信号に関係なくAC100Vを出力します。電流容量は最大10Aです。

⑮AC入力端子

電源（配電盤）からの電源線をこの端子に接続します。

⑯接地端子

本機外装の接地端子です。接地してください。

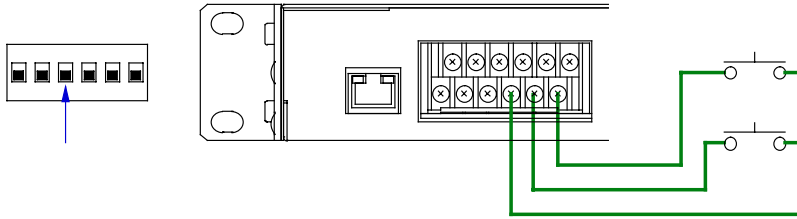
※注：

各々のACコンセントの電流容量はブロックごとの最大定格で、全てのACコンセントの合計電流容量は19.6Aです。いずれの最大定格も超えないようご注意ください。

(3) リモートコントロールする場合

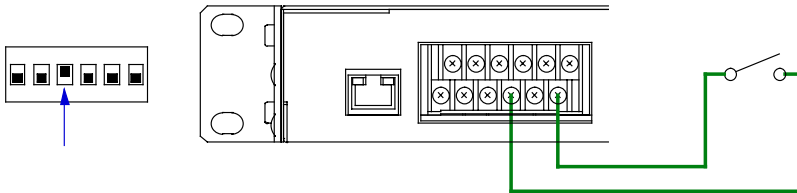
①パルス接点制御方式の場合

- 1 : 設定用ディップスイッチの3ピンを、PULSE (OFF) 側に設定します。
- 2 : 外部リモートEMG端子のCONT. INのON (A1) とCONT. INのGND (A3) 間に電源「入」用スイッチ (外部接点) を接続してください。
- 3 : 外部リモートEMG端子のCONT. INのOFF (A2) とCONT. INのGND (A3) 間に電源「切」用スイッチ (外部接点) を接続してください。



②メイク接点制御方式の場合

- 1 : 設定用ディップスイッチの3ピンを、HOLD (ON) 側に設定します。
- 2 : 外部リモートEMG端子のCONT. INのON (A1) とCONT. INのGND (A3) 間にスイッチ (外部接点) を接続してください。



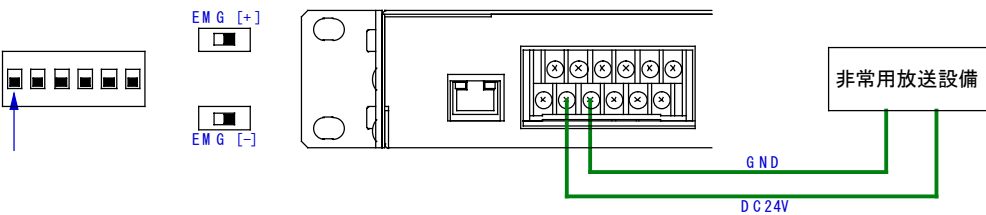
(4) 非常用放送設備に接続する場合

非常用放送設備の制御出力には、非常時24Vブレイク方式、非常時24Vメイク方式、非常時メイク接点方式があります。

非常用放送設備の制御出力が本機に入力されると、ACコンセント ([A] [B] [C]) の出力は一斉に遮断され、前面のAC出力ON/OFF LEDが全て消灯し、非常LED (赤) が点灯します。

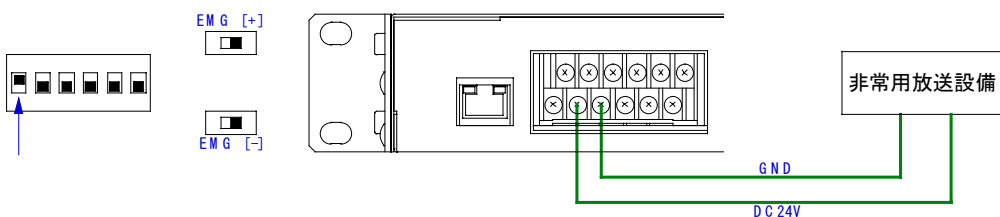
①非常時24Vブレイク方式の場合

- 1 : 前面のEMG [+] 切替スイッチとEMG [-] 切替スイッチを接続側に切り替えます。
- 2 : 設定用ディップスイッチの1ピンを、ブレイク (OFF) 側に設定します。
- 3 : 外部リモートEMG端子のCONT. INのEMG- (A4) を非常用放送設備のGND端子に、CONT. INのEMG+ (A5) を非常用放送設備のDC24V端子に接続してください。



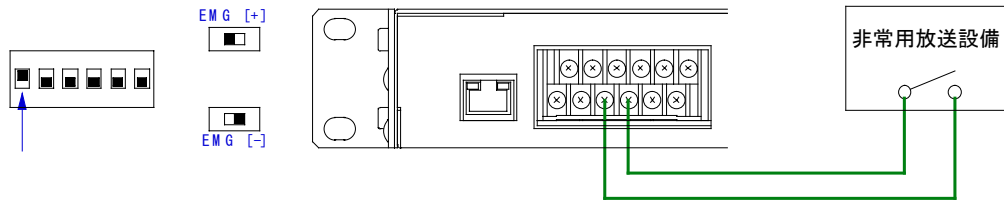
②非常時24Vメイク方式の場合

- 1 : 前面のEMG [+] 切替スイッチとEMG [-] 切替スイッチを接続側に切り替えます。
- 2 : 設定用ディップスイッチの1ピンを、メイク (ON) 側に設定します。
- 3 : 外部リモートEMG端子のCONT. INのEMG- (A4) を非常用放送設備のGND端子に、CONT. INのEMG+ (A5) を非常用放送設備のDC24V端子に接続してください。



③非常時メイク接点方式の場合

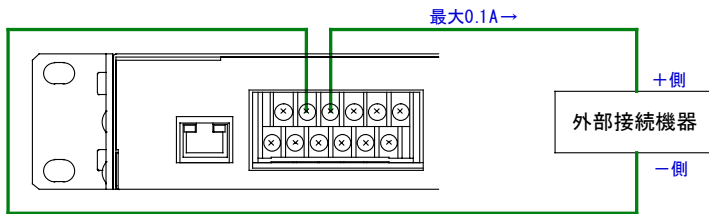
- 1 : 前面のEMG [+] 切替スイッチを未接続側、EMG [-] 切替スイッチを接続側に切り替えます。
- 2 : 設定用ディップスイッチの1ピンを、メイク (ON) 側に設定します。
- 3 : 外部リモートEMG端子のCONT. INのEMG- (A4) とCONT. INのGND (A3) 間に、非常用放送設備の制御出力端子を接続してください。



(5) DC24V出力を接続する場合

電源スイッチを「入」に連動して、外部リモートEMG端子のCONT. OUTの24V (B4) 端子からDC24Vが出力されます。電源スイッチを「切」にすると、DC24V出力も遮断されます。最大出力電流は0.1Aです。最大出力電流以上は絶対に使用しないでください。

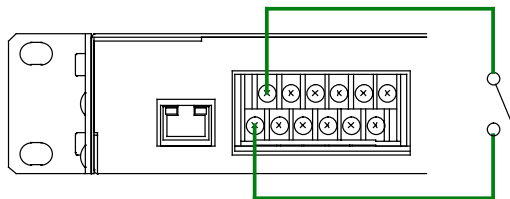
- ①外部リモートEMG端子のCONT. OUTの24V (B4) を外部接続機器の電源+側、CONT. OUTのGND (B5) を外部接続機器の電源-側に接続してください。



(6) RESET端子を接続する場合

本機の動作に異常が発生した場合は、本機をリセットしてください。リセットの方法は下記の接続を行い、外部接点を閉じた後、約1秒後に接点を開いてください。

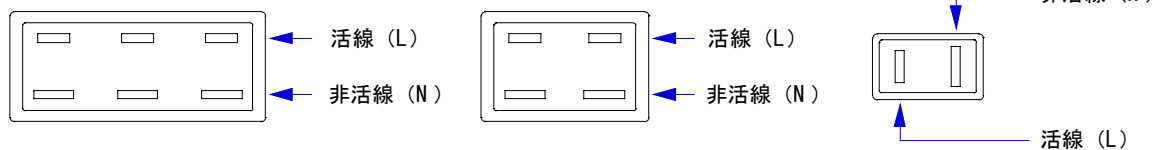
- ①外部リモートEMG端子のCONT. INの24V (A6) とCONT. OUTのGND (B6) 間にRESET用スイッチ (外部接点) を接続してください。



2- 3. ACコンセントの接続

本機のACコンセントは極性表示を省略しています。活線、非活線を統一して使用する場合は下図を参考にして下さい。

刃受け部の長いほうが非活線です。



3. リセットについて

注意：前面パネルを外す場合は販売店の方が電気工事士が行ってください。

各種設定を変更したり、動作に異常が発生した場合は、本機をリセットまたは再起動してください。リセットの方法は2通りあります。

3- 1. RESET端子を使用する方法

- (1) 外部リモートEMG端子のRESET端子接続を行います。
- (2) 接続した外部接点を閉じた後、2秒以上経過後に外部接点を開きます。

3- 2. ブレーカーを使用する方法

- (1) 前面パネルを外してブレーカーを「切」にし、2秒以上経過後に「入」にします。
- (2) 前面パネルを取り付けます。

設定変更後、リセットまたは再起動を実行しないと新たな設定が有効になりません。

4. OFF/ONタイマー機能について

注意：下記の設定を行うには前面パネルを外す必要があるため、販売店の方か電気工事事が行ってください。

本機には、ACコンセント（[A] [B] [C]）から出力されるAC100Vの遅延タイマー機能があります。遅延タイマーには「入」時間遅延と「切」時間遅延の2種類のタイマーがあり、3つのACコンセント（[A] [B] [C]）に対して各々独立して設定できます。

この機能を設定すると、電源スイッチや外部リモートで本機の電源を「入」または「切」しても、設定した時間だけACコンセント（[A] [B] [C]）の出力が遅延して「入」または「切」します。

また、遅延時間の設定は前面のタイマー時間設定ロータリースイッチを使用する方法とネットワーク経由で行う方法が選択でき、前面の設定用ディップスイッチの5ピンを使用して以下の様に選択し、設定はどちらかのみが有効になります。

- ・ FRONT（OFF）側の場合：前面のタイマー時間設定ロータリースイッチの設定が有効になります。
- ・ Ethernet（ON）側の場合：ネットワーク経由の設定が有効になります。

設定を変更したら本機を「3. リセットについて」に従いリセットしてください。

4- 1. タイマー時間設定ロータリースイッチによる設定のしかた

- （1）前面パネルを外し、設定用ディップスイッチの5ピンをFRONT（OFF）側に設定します。
- （2）設定ロータリースイッチを回して、ACコンセント（[A] [B] [C]）に対して遅延させたいOFF（またはON）タイマー時間の設定を行います。
- （3）リセットを行い、前面パネルを取り付けます。

①OFF時間設定のしかた

前面のOFFタイマー時間設定ロータリースイッチにて下図の様に0～約7分30秒まで約30秒間隔で16通りの設定ができます。

ロータリースイッチの設定	OFFまでの時間	ロータリースイッチの設定	OFFまでの時間
0	0秒（遅延なし）	8	約4分
1	約30秒	9	約4分30秒
2	約1分	A	約5分
3	約1分30秒	B	約5分30秒
4	約2分	C	約6分
5	約2分30秒	D	約6分30秒
6	約3分	E	約7分
7	約3分30秒	F	約7分30秒

②ON時間設定のしかた

ON時間設定範囲は、0～約7.5秒と0～約75秒の2種類選択できます。

前面の設定用ディップスイッチ4ピンの設定位置により、下記の範囲で切り替えます。

- ・ 0.5 s（OFF）側の場合：0～約7.5秒まで約0.5秒間隔で16通り
- ・ 5 s（ON）側の場合：0～約75秒まで約5秒間隔で16通り

各々の位置での設定時間は以下の表の内容になります。

設定用ディップスイッチの4ピン：0.5 s（OFF）側の場合

ロータリースイッチの設定	ONまでの時間	ロータリースイッチの設定	ONまでの時間
0	0秒（遅延なし）	8	約4秒
1	約0.5秒	9	約4.5秒
2	約1秒	A	約5秒
3	約1.5秒	B	約5.5秒
4	約2秒	C	約6秒
5	約2.5秒	D	約6.5秒
6	約3秒	E	約7秒
7	約3.5秒	F	約7.5秒

設定用ディップスイッチの4ピン：5s（ON）側の場合

ロータリースイッチの設定	ONまでの時間	ロータリースイッチの設定	ONまでの時間
0	0秒（遅延なし）	8	約40秒
1	約5秒	9	約45秒
2	約10秒	A	約50秒
3	約15秒	B	約55秒
4	約20秒	C	約60秒
5	約25秒	D	約65秒
6	約30秒	E	約70秒
7	約35秒	F	約75秒

4—2. ネットワーク経由の設定のしかた

- (1) 前面パネルを外して、設定用ディップスイッチの5ピンを、Ethernet（ON）側に設定します。
- (2) リセットを行い、前面パネルを取り付けます。
- (3) ネットワーク経由で、ACコンセント（[A] [B] [C]）に対して遅延させたいOFF（またはON）タイマー時間の設定を行います。設定についての詳細は、「5. ネットワーク機能について」の項をご参照ください。

5. ネットワーク機能について

注意：以下の設定を行うには前面パネルを外す必要があるため、販売店の方が電気工事士が行ってください。

本機は、Ethernet（10BASE-T/100BASE-TX）を使用してネットワークに接続することにより、ネットワーク上のホストやクライアント（パソコン等）からリモートコントロールすることができます。

注意：本機は全てのネットワーク環境での動作を保証するものではありません。

補足：ネットワーク仕様についての詳細は、お買い上げの販売店か弊社支店、営業所までお問い合わせください。

注意：本機をネットワークに接続して使用する場合、同時に複数のホストやクライアントからアクセスしないでください。複数よりのアクセスがされた場合、接続が切断され操作ができなくなる場合があります。

補足：Webブラウザについて

Webブラウザで本機にアクセスするには、ホストやクライアントの環境が以下となっている必要があります。

- ・OS：Microsoft Windows 98/Me/2000/XP
 - ・Webブラウザ：Microsoft Internet Explorer 6.0以降
 - ・JRE（Java Runtime Environment）1.4.2以降がインストールされ、かつJava（Sun）が有効
- JREはSun Microsystems社のホームページからダウンロードできます。インストール及び動作環境についてはSun Microsystems社のホームページを参照してください。Javaを有効にする設定はブラウザのヘルプ、各社のホームページ等を参照して下さい。

注意：本機のネットワークによる制御機能は、ホストやクライアントとのコマンド通信により動作しますが、この通信は暗号化などによるセキュリティ対策を施していません。このため意図に係わらず第三者によるプロトコルの解読やリバースエンジニアリングなどにより、第三者より本機の制御が行われる可能性があります。これらによる被害が想定される場合にはネットワークによる利用を控えることをお勧めいたします。

5-1. 接続準備

「4-2. ネットワーク経路の設定のしかた」に従い、設定用ディップスイッチがネットワーク経路による設定を選択していることを確認します。

(1) 設定前の準備

ネットワークの設定前に、本機に設定するIPアドレス、サブネットマスクを決めます。設定するIPアドレス、サブネットマスクについては、運用されるネットワークの管理者にお問い合わせください。

本機は工場出荷状態でのネットワーク設定として、

IPアドレス：192.168.0.100 サブネットマスク：255.255.255.0

が設定されています。

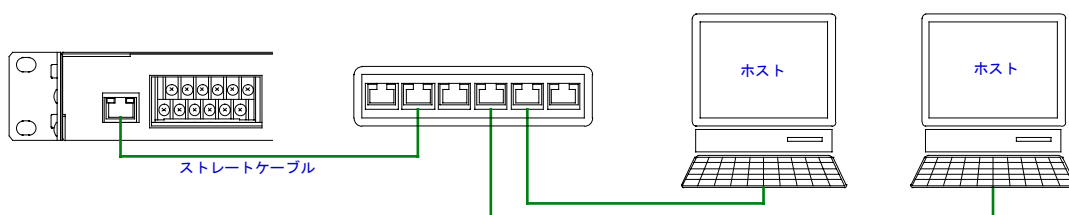
運用されるネットワークのネットワークアドレスが192.168.0.0ではない場合、またはそのネットワーク上ですでに192.168.0.100のIPアドレスを持つホストが作動している場合は、本機をそのネットワークに接続して設定することはできません。

この場合は、本機と本機の設定を行うホストで192.168.0.0のネットワークを構成する必要があります。IPアドレス192.168.0.X（Xは1～254で100以外）、サブネットマスク255.255.255.0を持つホストを用意し、本機と接続してください。

(2) ネットワークへの接続

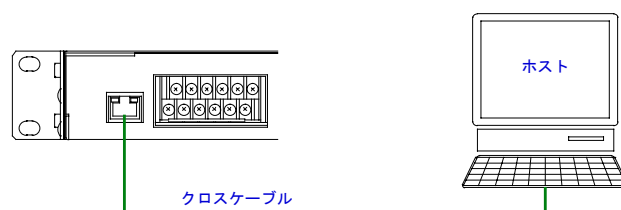
①HUBを使用した接続

本機Ethernet端子（RJ-45）とHUBのポートを市販のEthernetストレートケーブル（UTPカテゴリ5）で接続してください。HUBのポートはMDIポート以外を使用してください。



②1台のホストとの接続

本機Ethernet端子（RJ-45）と接続するホストのEthernet端子を市販のEthernetクロスケーブル（UTPカテゴリ5）で接続してください。



5- 2. ネットワーク設定機能

ネットワーク接続に関する各種設定を行います。この設定を誤ると正常にネットワークへ接続できません。

(1) ネットワークの設定

- ①本機とネットワークで接続されたホストでWebブラウザを起動します。
- ②Webブラウザの開きたいURLを入力する欄に本機のIPアドレスを [http://] に続けて入力し、その後に //config.htmlと入力します。
例えば、工場出荷状態では本機のIPアドレスは192.168.0.100に設定されていますので、http://192.168.0.100/config.htmlと入力します。
- ③Webブラウザに設定画面のページが表示されたら、[ネットワーク設定] のリンクをクリックします。
- ④ネットワーク設定ページが表示されたら、ご使用になるネットワークの環境に合わせてIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定します。
- ⑤パスワードを設定する場合は、各パスワード欄に入力します。
各々のパスワードによるアクセス範囲は下記ようになります。
 - ・ユーザーパスワード
リモートコントロールのWebページにアクセスできます。
 - ・オペレータパスワード
ユーザーパスワードによるアクセス範囲及びOFF/ONタイマー設定のWebページにアクセスできます。
 - ・ルートパスワード
オペレータパスワードによるアクセス範囲及びネットワーク設定のWebページにアクセスできます。パスワードを設定したWebページにアクセスしようとすると、パスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力しないとWebページにアクセスできませんので、設定したパスワードは忘れないようご注意ください。また、パスワードを設定していないWebページはパスワード入力画面は表示されません。
- ⑥全ての項目の設定が済んだら、送信ボタンをクリックします。しばらく（約30秒）時間をおくと更新された設定にてアクセスが可能になります。

注意：本機のパスワード機能は簡易的なものであり、ネットワークやシステムの運用の安全を保証するものではありません。パスワードの漏洩や解読による被害が想定される場合には利用しないことをお勧めいたします。

(2) ネットワーク設定の初期化

ネットワークの設定値への意図しない変更や設定の失敗などによりネットワークから接続できなくなった場合は、以下の手順に従い設定を工場出荷状態に戻した後、再度設定してください。

- ①本機がネットワークに接続されていたら、ネットワークから切り離します。
- ②前面パネルを外してブレーカーを「切」にし、設定用ディップスイッチの6ピンを（ON）側にします。
- ③ブレーカーを「入」にし、電源スイッチが点灯するまで待ちます。
- ④ブレーカーを「切」にし、設定用ディップスイッチの6ピンを（OFF）側に戻します。
- ⑤前面パネルを取り付けます。

5-3. Webサーバ機能

Webブラウザより本機に接続することにより、電源「入/切」のリモート操作を行うことができます。Webブラウザから本機に接続するには、ブラウザのURL入力欄に、本機のIPアドレスを [http://] に続けて入力すると、リモート操作画面が表示されます。

(1) リモートコントロール

①一斉OFFタイマー

1 : STARTボタン

ACコンセント [A] [B] [C] に対してOFFタイマーを開始させます。
本機の電源スイッチにて電源を切る操作と同様の動作です。

2 : STOPボタン

OFFタイマーのカウント動作を一時停止させる機能です。このボタンを押した後、再度STARTボタンを押すと一時停止していたカウント機能が再び作動します。

3 : CLEARボタン

OFFタイマーのカウント一時停止状態をクリアする機能です。STOPボタンでOFFタイマーのカウント動作を一時停止させた状態でこのボタンを押すと一時停止状態を解除し、タイマーのカウント値をクリアします。再度STARTボタンを押すとタイマーの初期状態よりカウントを再開します。

②一斉ONタイマー

1 : STARTボタン

ACコンセント [A] [B] [C] に対してONタイマーを開始させます。
本機の電源スイッチにて電源を入れる操作と同様の動作です。

2 : STOPボタン

OFFタイマーのカウント動作を一時停止させる機能です。このボタンを押した後、再度STARTボタンを押すと一時停止していたカウント機能が再び作動します。

3 : CLEARボタン

ONタイマーのカウント一時停止状態をクリアする機能です。STOPボタンでONタイマーのカウント動作を一時停止させた状態でこのボタンを押すと一時停止状態を解除し、タイマーのカウント値をクリアします。再度STARTボタンを押すとタイマーの初期状態よりカウントを再開します。

メモ：一斉OFF/ONタイマー動作にて、STOPボタンでタイマーのカウント動作を一時停止した後、CLEARボタンでタイマーのカウントをクリアしてもACコンセント [A] [B] [C] の出力状態はSTOPボタンを押した時点の状態を保持します。

③一斉強制

1 : OFFボタン

ACコンセント [A] [B] [C] の出力を強制的に一斉OFFします。

2 : ONボタン

ACコンセント [A] [B] [C] の出力を強制的に一斉ONします。

メモ：この操作はOFF/ONタイマー動作中でもタイマー動作を解除して一斉にOFF/ONします。また、この操作を行っても電源スイッチの点灯状態は変化しません。

④個別強制 ChA、ChB、ChC

1 : OFFボタン

ACコンセント [A] [B] [C] の出力を個別に強制OFFします。

2 : ONボタン

ACコンセント [A] [B] [C] の出力を個別に強制ONします。

メモ：この操作はOFF/ONタイマー動作中でも個別にタイマー動作を解除し強制OFF/ONします。また、この操作を行っても電源スイッチの点灯状態は変化しません。

5- 4. OFF/ONタイマー機能

前面のタイマー時間設定ロータリースイッチで設定するOFF/ONタイマーの設定がネットワーク経由でも設定できます。但し設定値で動作させるには前面の設定用ディップスイッチの5ピンが、Ethernet (ON) 側に設定されている必要があります。設定されていない場合は、「4. OFF/ONタイマー機能」の項を参照して設定してください。

①OFFタイマー設定

- 1 : 本機とネットワークで接続されたホストでWebブラウザを起動します。
- 2 : Webブラウザの開きたいURLを入力する欄に本機のIPアドレスを [http://] に続けて入力し、その後に /config.html と入力します。例えば、工場出荷状態では本機のIPアドレスは192.168.0.100に設定されていますので、http://192.168.0.100/config.html と入力します。
- 3 : Webブラウザに設定画面のページが表示されたら、[OFFタイマー設定] のリンクをクリックします。
- 4 : OFFタイマー設定ページが表示されたら、ACコンセント [A] [B] [C] に設定したいOFFタイマー時間を ChA、ChB、ChCの欄に入力します。設定可能な時間は0.5秒単位で0から9999秒の範囲です。
- 5 : 設定が完了したら送信ボタンをクリックします。
- 6 : 本機を「3. リセットについて」に従いリセットして下さい。

②ONタイマー設定

- 1 ~ 2 はOFFタイマー設定と同様です。
- 3 : WEBブラウザに設定画面のページが表示されたら、[ONタイマー設定] のリンクをクリックします。
- 4 : ONタイマー設定ページが表示されたら、ACコンセント [A] [B] [C] に設定したいONタイマー時間を ChA、ChB、ChCの欄に入力します。設定可能な時間は0.5秒単位で0から9999秒の範囲です。。
- 5 : 設定が完了したら送信ボタンをクリックします。
- 6 : 本機を「3. リセットについて」に従いリセットして下さい。

メモ : OFF/ONタイマー設定にて、前面の設定用ディップスイッチの5ピンがFRONT (OFF) 側でも設定データの送信は可能ですが、タイマー動作は前面のタイマー時間設定ロータリースイッチの設定が有効になります。

送信した設定で動作させたい場合は、前面の設定用ディップスイッチの5ピンの設定を「4. OFF/ONタイマー機能」の項を参照し、Ethernet (ON) 側に設定して下さい。

6. 仕様と製品構成

■仕様

電源	: AC100V 50/60Hz
消費電力	: 約18W (本機のみ)
ACコンセント	: (前面) 電源非連動 1口 (5A以下) (背面) 電源非連動 2口×1ブロック (1ブロック当たり10A以下) 電源連動 3口×3ブロック (1ブロック当たり15A以下) (前面、背面の合計12口で最大19.6A以下)
DC24V出力	: 電源スイッチ連動 1系統 (最大0.1A以下)
外部リモート端子	: 外部メイク接点により電源「入/切」 ×1 外部パルス接点により電源「入」 ×1 外部パルス接点により電源「切」 ×1
非常用放送設備端子	: DC24Vブレイク方式⇔DC24Vメイク方式 (ディップスイッチによる切替式)
増設用制御出力端子	: 無電圧メイク接点 (接点容量 DC24V 1A) 1系統
OFFタイマー	: ACコンセント [A] [B] [C] に対し ・前面のタイマー時間設定ロータリースイッチにてACコンセント個別に0～約7分30秒 (約30秒間隔) の範囲で設定可能 ・ネットワーク経由にてACコンセント個別に0～9999秒 (0.5秒単位) の範囲で設定可能
ONタイマー	: ACコンセント [A] [B] [C] に対し ・前面のタイマー時間設定ロータリースイッチにてACコンセント個別に0～約7.5秒 (約0.5秒間隔) または0～約75秒 (5秒間隔) の範囲で設定可能 (ディップスイッチによる切替式) ・ネットワーク経由にてACコンセント個別に0～9999秒 (0.5秒単位) の範囲で設定可能
動作環境	: 周囲温度 0℃～40℃ 周囲湿度 30%～85% (結露しないこと)
外形寸法	: 482 (幅)、44 (高さ)、300 (奥行き) mm (EIA規格1Uサイズ)
質量	: 約3.9kg
外装色	: 黒色7分艶焼付塗装 (マンセルN1.5近似色)

■製品構成

本体	: 1台
取扱説明書 (本書)	: 1冊
保証書	: 1部
M5化粧ネジ	: 4本

ELMO 株式会社 エルモ社

本 社	名古屋市瑞穂区明前町6番14号	☎ (052) 811-5131	〒467-8567
東京支店	東京都港区三田3丁目7番16号	☎ (03) 3453-6471	〒108-0073
名古屋支店	名古屋市瑞穂区明前町6番14号	☎ (052) 824-1571	〒467-8567
大阪支店	大阪市中央区東高麗橋2番4号	☎ (06) 6942-3221	〒540-0039
九州支店	福岡市博多区冷泉町2番8号 朝日プラザ 祇園2階	☎ (092) 281-4131	〒812-0039
北海道営業所	札幌市中央区北4条西15丁目1番40号	☎ (011) 631-8636	〒060-0004
仙台営業所	仙台市青葉区中央4丁目10番14号 エノトセフビル2階	☎ (022) 266-3255	〒980-0021
広島営業所	広島市中区小町5番8号 トルチェ2階	☎ (082) 248-4800	〒730-0041

URL <http://www.elmo.co.jp/>

この取扱説明書に記載された社名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。
この取扱説明書の内容は改良のため変更される場合があります。
この取扱説明書はリサイクル用紙を使用しています。
この取扱説明書より無断での転載、引用を禁じます。